

Park Information

第28回 敷島公園まつり 開催報告



多くの皆様のご来場、ありがとうございました。

今年もまた、春の訪れと同時に「敷島公園まつり」を、去る4月29日に開催し、お陰様を持ちまして盛況のうちに終了致しましたことをここに報告いたします。

今年も昨年に引き続き、「第2回前橋公園まつり」との同日開催として、シャトルバスの運行やスタンプラリーでの連携などの取り組みを図り、まつり終盤に急な天候変化に見舞われる中での開催でしたが、およそ23,000人もの方々に当公園まで足を運んでいただくことができました。また、安全管理の面においても、天候変化への対応や、警備・巡回を例年以上に強化することで、大きな事故・トラブル無く安全に全ての予定していたプログラムを終了することができました。

おまつり、そしてGWが終わり、これからいよいよ施設利用の最繁忙期を迎えますが、引き続き安全・安心な管理運営を継続し、皆様から、より親しまれる敷島公園を目指しますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

■園長より皆様へご挨拶

私たち敷島パークマネジメントJVが、県立敷島公園の指定管理者を務めてから6回目、平成元年からスタートして通算28回目となる「敷島公園まつり」となりました。私たちは、当公園の設置目的である、「県民のスポーツ・レクリエーションの拠点」を念頭に、来園される県民の皆様が“ワクワク”して頂ける新しいプログラム作りを心がけ、毎年趣向を凝らしてまいりました。

今回の「敷島公園まつり」では、新たに、上州唐揚連合会様より第7回からあげグランプリ最高金賞店を始め計4店舗の出店や、株式会社SUBARU本仕様のご協力の下、アウトドア展示エリアにて、新型車両のアイサイト試乗体験会を企画、園内全域を活用した内容に発展することができました。

また日常的にご利用頂いている各運動競技団体様と協働したスポーツ施設の無料開放エリアでは、正田醤油スタジアム群馬（陸上競技場）にて「第2回敷島公園障がい者陸上競技大会（群馬陸上競技協会様）」、補助陸上競技場にて「ラグビーパーク（群馬県ラグビー協会様）&フリースロー体験（群馬クレインサンダース様）」、ツリーイング体験（株式会社GENESIS ONE様）を新たに開催することができ、同日開催となるザスパクサツ群馬様主催のナイター公式戦との連携や協働も恒例となってきております。

多くの参加団体様及び関係者の皆様のご理解とお力添えを頂けたことが、新しい利用形態によるスポーツの普及発展や、初めて経験するようなレクリエーションの提供という形を持って、今までに無い新しい価値の創造に繋がり、来園者の皆様へと“ワクワク”をご提供することに繋がったのではないかと考えています。

末筆ですが、今年は指定管理者の更新の年でもありますことから、引き続き私たち敷島パークマネジメントJVが継続して「敷島公園まつり」の開催に携わることが出来る様、これまで以上に良い敷島公園を目指して日々の管理運営に尽力していく次第でございます。



群馬県立敷島公園 指定管理者
敷島パークマネジメントJV
園長 平野 曜伯

■来場者数

当日は強風が吹く中ではありましたが、前橋公園まつりと同日開催・両公園まつりを繋げるシャトルバスの運行で約23,000人もの皆様に敷島公園まつりを楽しんでいただきました。

来場者区分	人数	備考
①競技場施設利用者	4,000人	※陸上競技場、補助競技場、野球場、サッカーラグビー場、テニスコート、水泳場 計6施設
②まつり来場者	19,000人	※交通量調査結果
合計(①+②)	23,000人	

■テーマ

公園を遊びつくすのはキミだ！

■目的

- ・都市緑化の普及・啓蒙
- ・地域スポーツ振興の促進
- ・群馬ローカリゼーションの推進

■プログラム内容（スポーツ&カルチャーゾーン・グリーンゾーンを中心とした全30プログラム）



■参加者の皆様の「声」

敷島公園まつりの運営大変お疲れ様でした。そして貴重な経験を大変ありがとうございました。朝からすっきり穏やかな天候に恵まれて気持ちよくスタートし、スタッフの皆さんや、ご参加くださった方々の笑顔に出会えて素敵な1日でした。

終了後の雷や大雨、その後の大きな虹と1日で色々経験させてもらった感じです。(出展団体様より)



■スタンプラリー「バスに乗って、PON！ PON！ PON！ CAN！！」の実施

(目的)

- ・前橋公園まつり、敷島公園まつりの回遊性向上
- ・来場者の満足度向上

(概要)

- ・参加特典：各公園オリジナル缶バッチ
 - ・抽選景品：ザスパクサツ群馬観戦チケット
スカイテルメ渋川入湯券
- ※参考：前橋公園まつり…るなばあく回数利用券

(利用者数)

- ・前橋公園まつり：約400名
- ・敷島公園まつり：約300名

(チラシ・スタンプ制作協力)

東日本デザイン&コンピューター専門学校 デザイン研究部



【新規取組】公園マイスターとして直井絢美さん(敷島公園マイスター)と大谷悠真さん(前橋公園マイスター)に、特製Tシャツの贈呈と記念撮影を行いました

▼公園マイスターとは？



敷島公園まつり・前橋公園まつり同日開催における新たな取組として、それぞれの公園まつりをより楽しんでいただくためのプレゼントキャンペーンを実施いたしました。

このキャンペーンは、昨年のスタンプラリー景品であった缶バッチを身につけ、今年のスタンプラリーを完遂した来場者(各公園にて先着1名)に対し、最も公園まつりを楽しんだ方として、『公園マイスター』と称し表彰いたしました。

公園マイスターのお二人には、それぞれ名前入り特製記念Tシャツを贈呈、さらに敷島公園の正田醤油スタジアムにてご家族とともに撮影会を行うなどして、公園でのひとときを過ごしていただきました。

敷島公園マイスター

直井絢美さん

2年連続、家族みんなでスタンプラリーに参加しました。去年のバッチを大切にとっておいてよかったです。ふたつの公園まつりもたくさん参加できるプログラムがあり、楽しめました。撮影はふかふかの芝生が気持ちよかったです。来年の缶バッチも楽しみです。



■ご参加いただいた団体・企業等の皆様(敬称略、順不同)

- ・主 催：群馬県・前橋市・敷島パークマネジメントJV（株式会社オリエンタル群馬、株式会社オリエンタルコンサルタンツ、シンコースポーツ株式会社、株式会社富士植木）
- ・共 催：関東森林管理局、(一財)日本森林林業振興会前橋支部、(公社)群馬県緑化推進委員会、日本野鳥の会群馬、NPO 法人ぐんま緑のインタープリター協会
- ・協 賛：SUBARU 株式会社、群馬ダイハツ自動車株式会社、ナカダイ、まえばし駅前天然温泉ゆ〜ゆ、カネコ種苗株式会社、日本体育施設、生活協同組合コープぐんま 前橋センター、株式会社ティーライフ、有限会社カナイ建装工業、津田電気通信、コーエイ株式会社、天然温泉 スカイトルメ渋川
- ・協 力：敷島公園売店協議会、敷島公園観光連盟、群馬県赤十字血液センター、群馬県骨髄バンク推進連絡協議会、群馬クレインサンダーズ、前橋市読み聞かせグループ連絡協議会、アネモネの会、群馬県障がい者陸上競技協会、群馬県野球連盟、群馬県テニス協会、群馬県水泳連盟、群馬県ラグビーフットボール協会、ザスパクサツ群馬、群馬ダイヤモンドペガサス、イベント・セキュリティー・プロデュース、株式会社まえばし CITY エフエム、群馬そば文化連絡協議会、社会福祉法人 一越会 ラ・セーヌ・ドゥ・レーヴ、東日本デザイン&コンピュータ専門学校、富士スバル株式会社、株式会社スノーピーク、株式会社 GENESIS ONE、特定非営利活動法人ユニバーサルスポーツ協会、ソウワ・ディライト、生活協同組合 コープぐんま 前橋センター、株式会社ろけっと開発、株式会社若草印刷、前橋北ライオンズクラブ、群馬県バス事業協同組合、群馬県前橋警察署、前橋市消防局、朝取り野菜の「まるよし」、上州唐揚連合会、アジアドネル、長谷川農園、近藤スワインポーク、コナリエ、カフェ・ド・ランプ、パン工房シャトア〜 SYATOA〜、空風珈琲焙煎所、中川漬物、Sweets Shop YOSHIDA、沼田市、上州太田焼そば EnJoY 麺 bers、ステーキ&ハンバーグ店 GGC、上毛カルタグルメストーリー、soto cafe、life、クレイサーズ、Sunnys、碓井克奈、ジャザサイズ群馬、Rinn、駅おん♪、群馬大学アカペラサークル VoiceCream
- ・後 援：上毛新聞社、群馬よみうり新聞社、朝日ぐんま、株式会社エフエム群馬、群馬テレビ株式会社



SHIKISHIMA PARK
MANAGEMENT JV

■開催概況写真



しきしまマルシェ(20店舗)



本部テント対応



カヌー体験(ユニバーサルスポーツ協会)



ツリーイング体験(ジェネシスワン)



そば打ち体験(群馬そば文化連絡協議会)



スタンプラリー(前橋公園まつりと連携)



ラグビーパーク
(群馬県ラグビー・フットボール協会)



アウトドアテント展示会
(スノーピーク・ソウワディライト)



無料シャトルバス
(前橋公園まつりと連携)



フリースロー体験(群馬クレインサンダース)



ネイチャークラフト(インタープリター協会)



スポーツ施設無料解放(障がい者陸上)



ステージプログラム(Sunnys)



アイサイト試乗・展示会(スバル)



スタンプラリー景品対応の様子

お問合せ先

県立敷島公園 指定管理者 敷島パークマネジメント JV

Tel.027-234-9338 Fax.027-234-9315 担当:岡田

